

---

---

# 淀川水系寝屋川ブロック 河川整備計画の変更に向けて

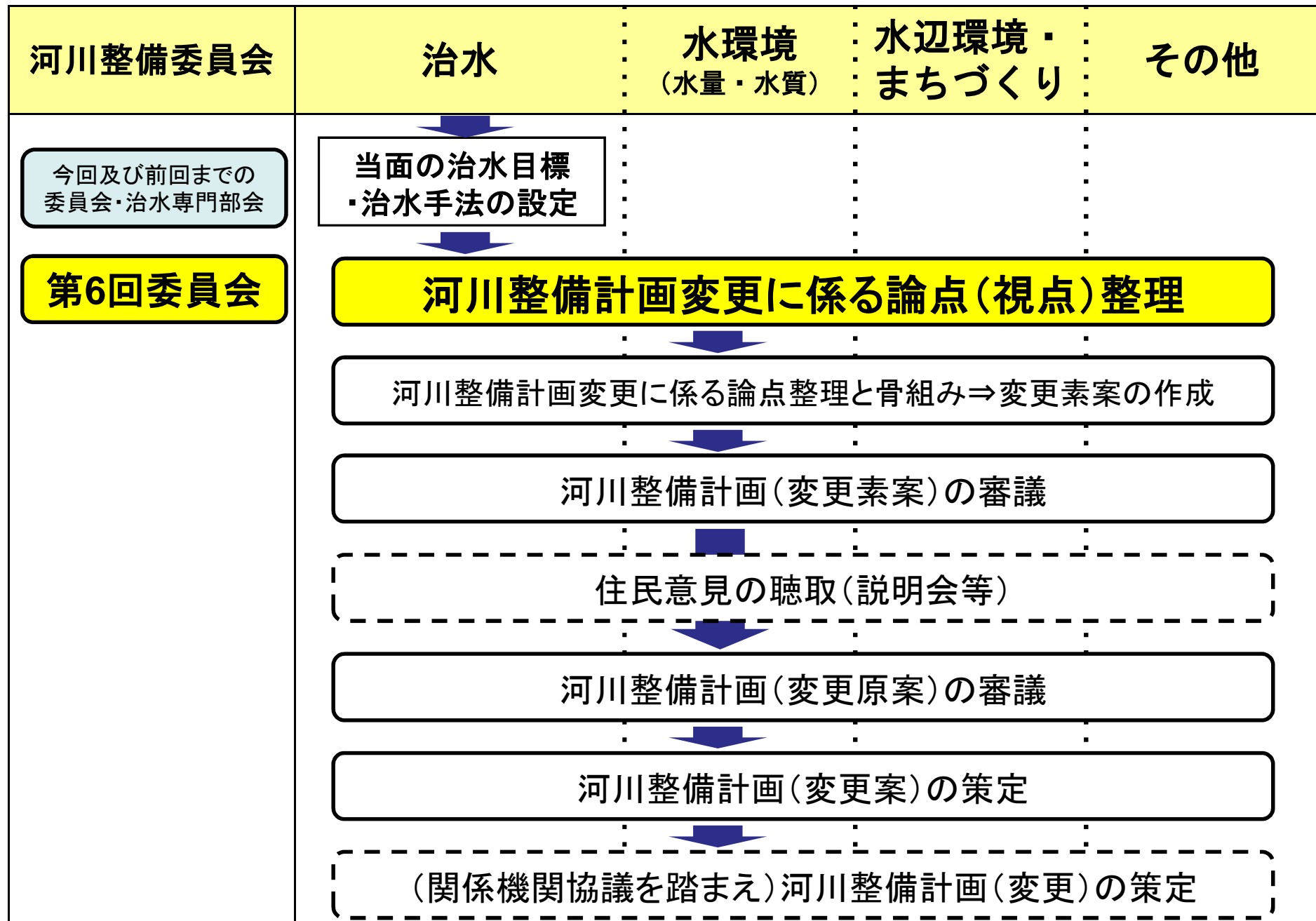
---

---

## 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画の変更に向けて

1. 河川整備計画(変更)の策定までの流れ
2. 治水について
3. 水環境(水質・水量)について
4. 水辺環境・まちづくりについて

# 1. 河川整備計画（変更）の策定までの流れ



# 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画の変更に向けて

1. 河川整備計画(変更)の策定までの流れ
2. 治水について
3. 水環境(水質・水量)について
4. 水辺環境・まちづくりについて
5. その他
6. 各項目における河川整備計画変更の視点

# 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画の変更に向けて

## 2. 治水について

### 2.1. 治水における現河川整備計画の内容

- (1) 水害実績
- (2) 治水計画の沿革
- (3) 全体計画における治水目標
- (4) 現河川整備計画(平成14年7月策定)の内容

### 2.2. 現計画策定以降の治水における社会情勢の変化

- (1) 今後の治水対策の進め方

### 2.3. 河川整備計画変更の視点

- (1) 当面の治水目標と治水手法の設定
- (2) 現整備計画の進捗状況

## 2. 治水について

### 2.1. 治水における現河川整備計画の内容

- (1) 水害実績
- (2) 治水計画の沿革
- (3) 全体計画における治水目標
- (4) 現整備計画の進捗状況
- (5) 現河川整備計画(平成14年7月策定)の内容

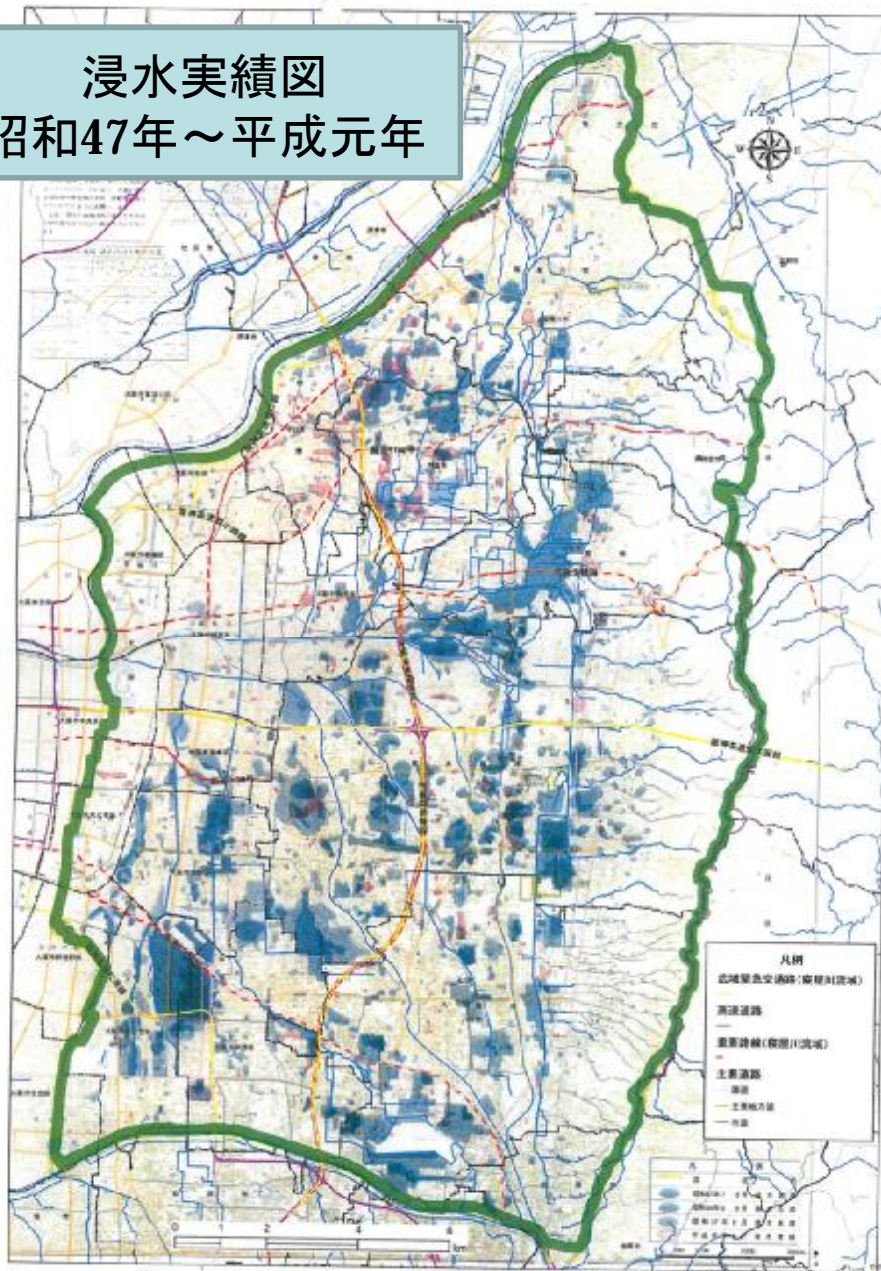
## 2.1.(1)水害実績

年 月 日	気 象 要 因	流域最大降雨量		浸水被害		
		時間最大(mm)	総雨量(mm)	床上(戸)	床下(戸)	計(戸)
昭和28年9月25日	台 風 1 3 号	38.0	192.0	3,200	48,553	51,753
昭和32年6月26日	梅 雨 前 線 及 び 台 風 5 号	62.9	326.1	23,319	88,455	111,774
昭和47年7月12日～13日	梅 雨 前 線	20.0	237.5	6,138	37,273	43,411
昭和47年9月15日～16日	台 風 2 0 号	47.5	115.0	8,902	52,505	61,407
昭和54年6月27日～7月2日	梅 雨 前 線	25.0	268.5	1,044	12,043	13,087
昭和54年9月30日～10月1日	台 風 1 6 号	66.0	96.0	4,045	23,691	27,736
昭和57年8月2日～3日	台 風 1 0 号 及 び 低 気 圧	39.5	150.5	6,778	43,262	50,040
平成元年9月2日～3日	秋 雨 前 線	23.0	166.0	26	1,927	1,953
平成元年9月14日	秋 雨 前 線	49.0	75.5	68	3,600	3,668
平成元年9月19日～20日	台 風 2 2 号	41.0	104.0	3	1,694	1,697
平成7年7月2日～6日	梅 雨 前 線	32.0	290.0	14	2,026	2,040
平成9年7月9日	梅 雨 前 線	35.0	74.0	9	163	172
平成9年7月13日	梅 雨 前 線	42.0	114.0	61	3,767	3,828
平成9年8月5日	低 気 圧	61.0	75.0	67	3,135	3,202
平成9年8月7日	前 線	80.0	116.0	359	8,854	9,213
平成11年6月26日～27日	梅 雨 前 線	50.0	94.0	3	398	401
平成11年6月29日～30日	梅 雨 前 線	42.0	130.0	2	195	197
平成11年8月10日～11日	熱 帯 低 気 圧	56.0	244.0	364	3,116	3,480
平成11年9月17日	局 地 的 豪 雨	88.0	106.0	85	3,872	3,957
平成15年5月8日	前 線	47.0	80.0	15	611	626
平成16年5月13日	前 線	41.0	89.0	22	310	332
平成16年10月20日	台 風 2 3 号	42.0	134.0	15	490	505
平成20年8月6日	低 気 圧	63.5	73.5	183	2,357	2,540
平成23年8月27日	局 地 的 豪 雨	77.5	88.0	89	(速報値) 1,499	(速報値) 1,588

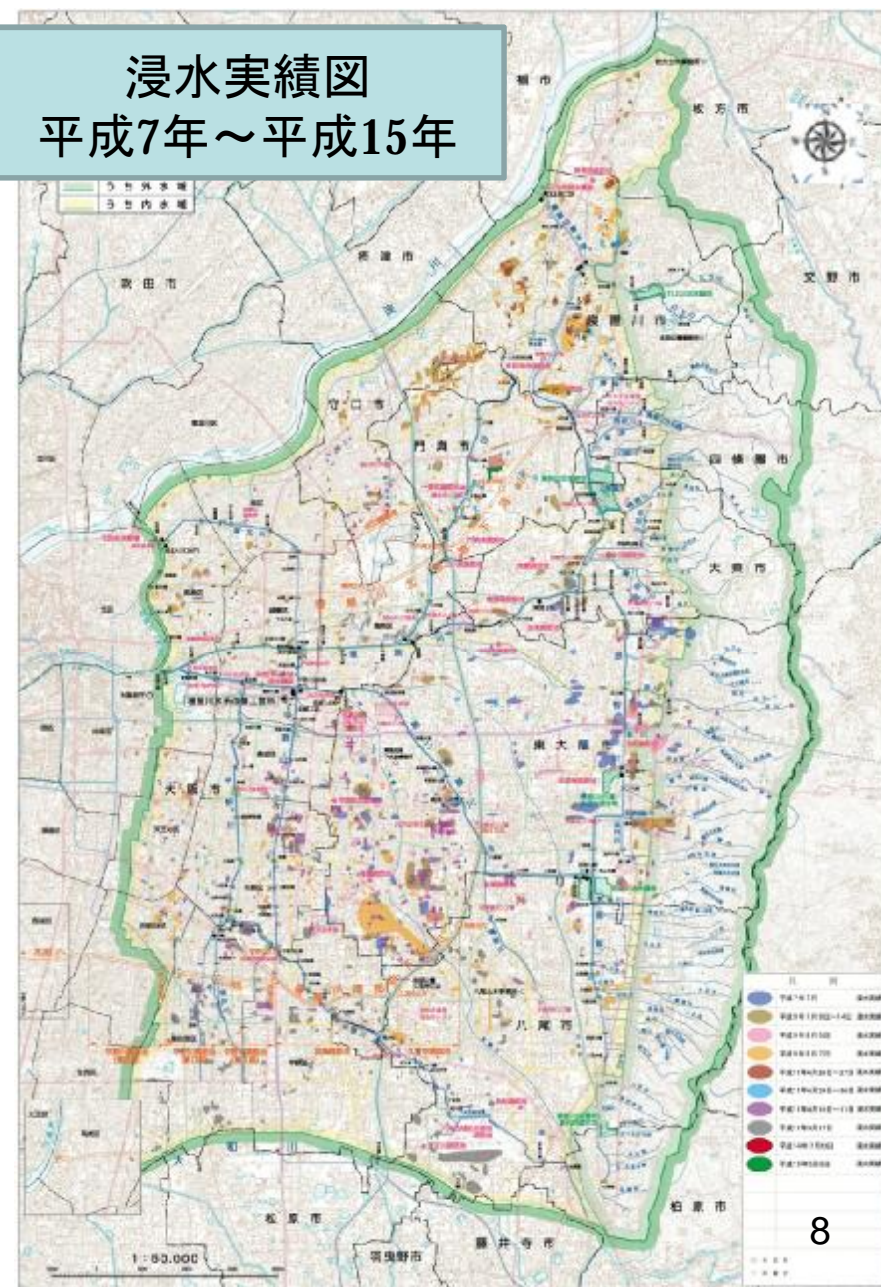


# 2.1.(1)水害実績

浸水実績図  
昭和47年～平成元年



浸水実績図  
平成7年～平成15年





## 2.1.(1)水害実績

昭和32年6月梅雨前線・台風5号豪雨

(24時間雨量が戦後最大の豪雨)



東大阪市稲田楠根連絡所付近



近鉄奈良線 八戸の里駅付近

時間最大62.9mm、総雨量326.1mm(24時間雨量311.2mm)

床上・床下浸水 111,774戸(災害救助法適用、死者6名)

※八尾実績降雨

## 2.1.(1)水害実績

### 昭和47年7月梅雨前線豪雨(大東市内)



時間最大 20.0mm、総雨量 237.5mm、  
床上 6,138戸、床下浸水 37,273戸



## 2.1.(1)水害実績

昭和57年8月 台風10号豪雨



東住吉区



大東市



大東市(恩智川竹橋上流)

時間最大 39.5mm、総雨量 150.5mm、  
床上 6,778戸、床下浸水 43,262戸

## 2.1.(1)水害実績

平成7年7月 梅雨前線豪雨



東大阪市内 床上 14戸、床下浸水 2,026戸

平成9年8月 前線豪雨



八尾市内 床上 359戸、床下浸水 8,854戸

平成15年5月 前線豪雨



寝屋川市内

## 2.1.(2) 治水計画の沿革

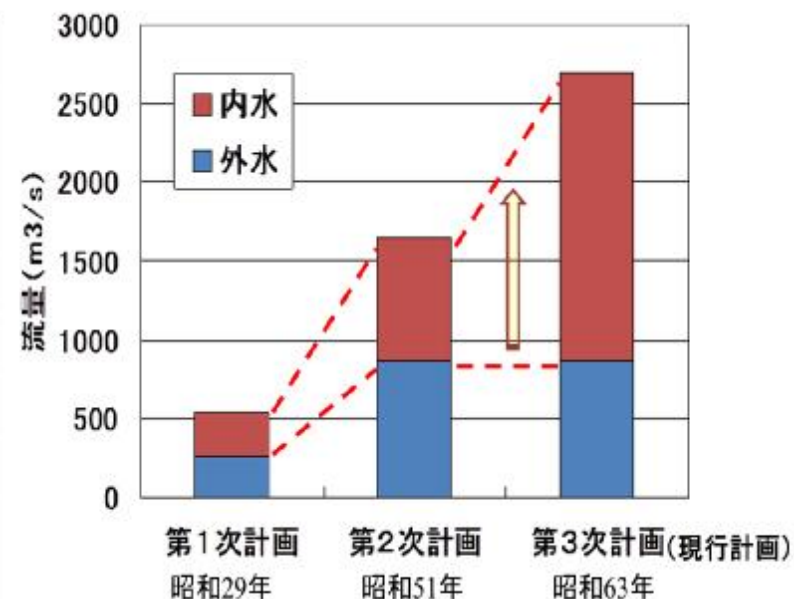
### ■ 治水計画の沿革

	第1次計画 昭和29年～	第2次計画 昭和51年～	第3次計画 昭和63年～
時間最大降雨 24時間降雨 基本高水流量	61.8mm/hr } M29.8.30 175.6mm/day } 最大実績雨量 536m <sup>3</sup> /s	62.9mm/hr } S32.6.26 311.2mm/day } 最大実績雨量 1650m <sup>3</sup> /s	62.9mm/hr } S32.6.26 311.2mm/day } 最大実績雨量 2700m <sup>3</sup> /s
主な洪水 処理方策	第二寝屋川新川開削 平野川分水路新川開削	河床掘削、特殊堤防(嵩上げ) 分水路(城北川、寝屋川導水路) 遊水池(寝屋川治水緑地、 恩智川治水緑地、打上川治水緑地)	地下河川(北部、南部) 流域調節池 流域対策

### ■ 流域協議会の沿革

昭和60年11月	「寝屋川流域都市水防災協議会」設立
昭和63年4月	「総合治水対策特定河川事業及び 総合治水流域調節池事業」新規採択 「寝屋川流域総合治水対策協議会」名称変更
平成元年10月	「流域対策に係る開発指導基準」施行
平成14年7月	「寝屋川ブロック河川整備計画」策定
平成16年5月	「特定都市河川浸水被害対策法」施行
平成18年1月	寝屋川流域特定都市河川流域の指定
平成18年7月	雨水浸透阻害行為の許可等の実施 (大阪府特定都市河川流域における 浸水被害の防止に関する条例)

### ■ (流域) 基本高水のピーク流量の改定経過



※ 第2次計画から第3次計画への変更は  
内水域からの流量増に対応するもの

## 2.1.(3)全体計画における治水目標

### ■第3次計画(現計画)

#### ①京橋口地点の 流域基本高水流量 2,700m<sup>3</sup>/s

◇基本高水流量2,400m<sup>3</sup>/s

⇒河道改修850m<sup>3</sup>/s:京橋口地点

⇒放水路(排水機場)390m<sup>3</sup>/s:毛馬、太間など

⇒地下河川500m<sup>3</sup>/s:北部、南部

⇒遊水地410m<sup>3</sup>/s:寢屋川、打上川、

恩智川(花園、池島・福万寺、法善寺)

⇒調節池250m<sup>3</sup>/s

◇流域対応 300m<sup>3</sup>/s

#### ②ソフト面の対策



## 2.1.(4) 現整備計画(平成14年7月策定)の内容

### 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

- 長期目標としては、第3次全体計画を目標
- 河川整備計画としては、  
基本高水のピーク流量 $2,400\text{m}^3/\text{s}$ のうち約 $2,100\text{m}^3/\text{s}$ を  
河道、分水路、遊水池、放流施設、貯留施設について  
下水道と協力しながら整備
- 河川からの氾濫防御(外水対策)は、  
1/80程度(80年に一度起こる規模の大雨に対応)を目指す
- 内水による浸水対策は、  
1/10程度(10年に一度起こる規模の大雨に対応)を目指す

	整備目標(概ね15年間で)
ピーク流量	約 $2,100\text{m}^3/\text{s}$
外水対策	1/80程度
内水対策	1/10程度

# 2.1.(5) 現整備計画(平成14年7月策定)の内容

表-1.4.6 計画対象区間一覧表

河川名	番号	工事実施区間	事業内容	延長	備考
寝屋川	1	住之井橋	橋梁改築		河川からの氾濫防衛および環境整備
	2	外環状鉄道	河道改修	L=0.1k l	
	3	住之井橋～西村橋上流	垂直緑化		
古川	4	古宮橋	橋梁改築		
	5	三ッ島大橋～古川橋下流	河道改修	L=2.1k l	
恩智川	6	松の鼻橋～池之島橋	堤防整備		
	7	寝屋川合流点～御供田新橋	垂直緑化		
	8	池之島橋～上流端	河道改修	L=7.0k l	
	9	三箇大橋外	橋梁改築		
平野川	10	恩智川治水緑地	遊水地	貯留量 165万m <sup>3</sup> (89万m <sup>3</sup> 完成)	
	11	恩智川(花園)多目的遊水地	遊水地	貯留量 32万m <sup>3</sup>	
	12	恩智川(法善寺)多目的遊水地	遊水地	貯留量 16万m <sup>3</sup>	
打上川	14	枚方富田林泉佐野線下流～上流端	河道改修	L=0.2k l	
大川	15	国道170号～上流端	河道改修	L=1.3k l	
音川	16	砂密上流～旧国道170号	河道改修	L=0.3k l	
城北川	17	寝屋川合流点～旧淀川(大川)合流点	河道改修	L=5.6k l	
地下河川	18	都島区中野町～寝屋川市讃良東町	地下河川	暫定貯留量 約19万m <sup>3</sup>	
地下河川	19	西成区南津守～東大阪市若江西新町	地下河川	放流量 180m <sup>3</sup> /s	
流域調節池	20	荻島調節池	調節池	貯留量 2.6万m <sup>3</sup>	
	21	東諸福調節池	調節池	貯留量 2.6万m <sup>3</sup>	
	22	八尾広域防災基地調節池	調節池	貯留量 3.2万m <sup>3</sup>	
	23	大久保調節池	調節池	貯留量 1.6万m <sup>3</sup>	
	24	八戸の里公園(小阪)調節池	調節池	貯留量 3.7万m <sup>3</sup>	
	25	大東中央調節池	調節池	貯留量 5.7万m <sup>3</sup>	
	26	富町調節池	調節池	貯留量 2.2万m <sup>3</sup>	
	27	布施公園(富井田)調節池	調節池	貯留量 0.9万m <sup>3</sup>	
	28	(仮称)新家集水区第1調節池	調節池	貯留量 約5万m <sup>3</sup>	
	29	(仮称)池島集水区第4調節池	調節池	貯留量 約3.5万m <sup>3</sup>	
	30	(仮称)赤島集水区第2調節池	調節池	貯留量 約4.5万m <sup>3</sup>	
	31	(仮称)四島集水区第1調節池	調節池	貯留量 約4.5万m <sup>3</sup>	
その他			調節池	貯留量 約15.4万m <sup>3</sup>	

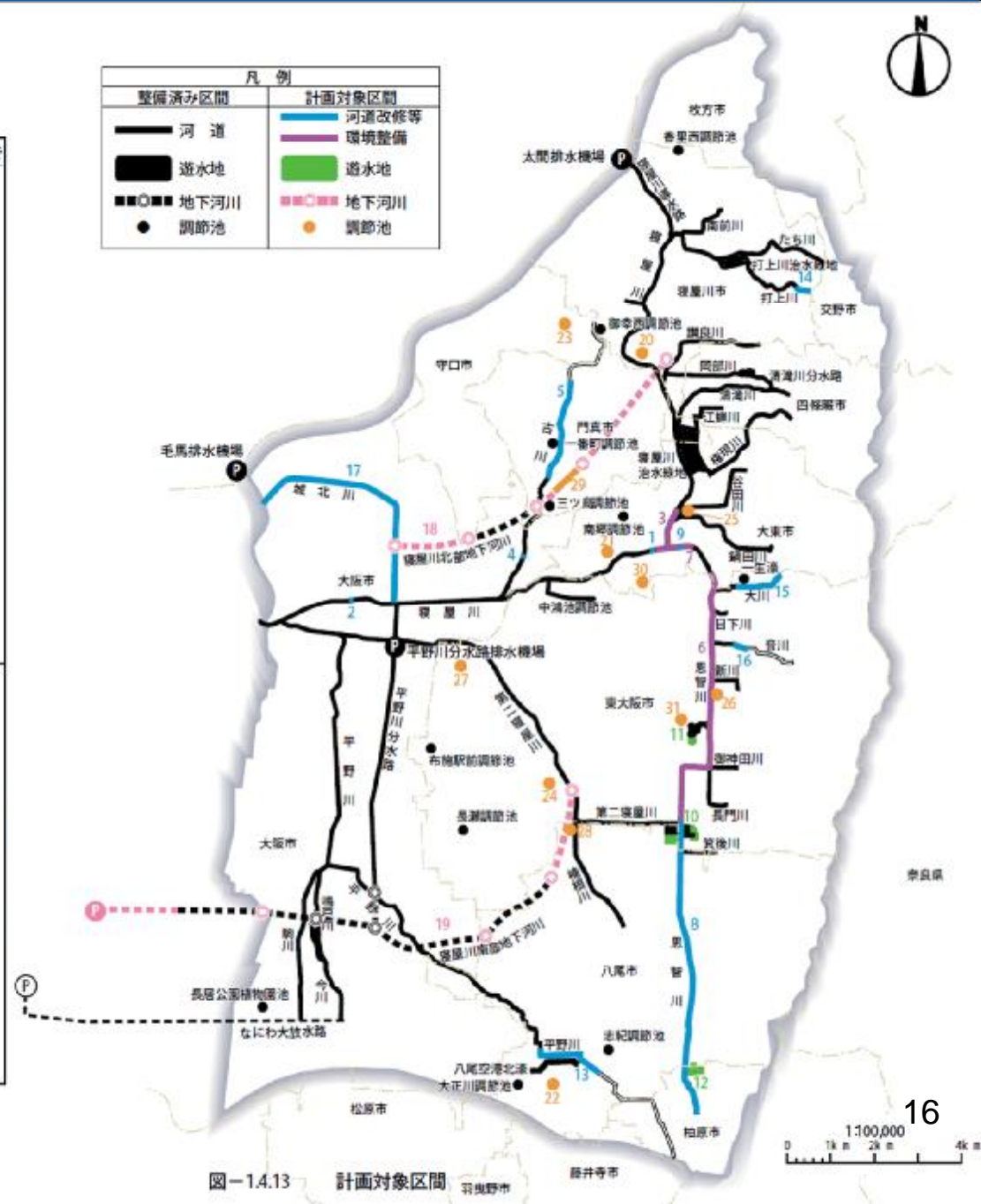
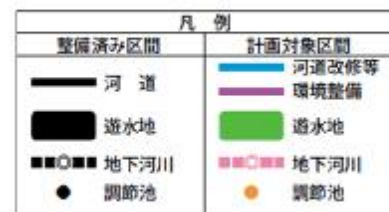


図-1.4.13 計画対象区間

## 2. 治水について

### 2.2. 現整備計画策定以降の治水における 社会情勢の変化

#### (1) 今後の治水対策の進め方

## 2.2.(1) 今後の治水対策の進め方

### 従来の考え方(H8大阪府河川整備長期計画)

府域全ての河川で、一生に一度経験するような大雨（**時間雨量80ミリ程度**）が降った場合でも、川があふれて、家が流され、人が亡くなるようなことをなくす。

- \* 目標達成には1兆400億円、約50年必要で府民が対策の効果を実感できない
- \* 気象変動により治水施設で防げない洪水に対する総合的なリスク対策が必要

### 「新たな治水対策」の考え方(H22.6策定)

【基本的な理念】人命を守ることを最優先する。

#### 【取組み方針】

- (1) 現状での河川氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川氾濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

#### 【具体的な取組み】



【今後20～30年の当面の治水目標】(河川毎に時間雨量50ミリ、65ミリ、80ミリを設定)  
時間雨量50ミリで床下浸水を発生させない、かつ少なくとも65ミリで床上浸水を発生させない

## 2. 治水について

### 2.3.河川整備計画変更の視点

#### (1) 今後の治水対策の進め方

## 2.3.(1) 今後の治水対策の進め方

### 「新たな治水対策」の考え方(H22.6策定)

【基本的な理念】人命を守ることを最優先する。

#### 【取組み方針】

- (1) 現状での河川氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施策を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間（概ね10年）で実現可能な対策及び実施後の河川氾濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

#### 【具体的な取組み】



【今後20～30年の当面の治水目標】(河川毎に時間雨量50ミリ、65ミリ、80ミリを設定)  
時間雨量50ミリで床下浸水を発生させない、かつ少なくとも65ミリで床上浸水を発生させない

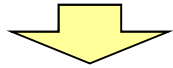


## 2. 3. (1) 今後の治水対策の進め方

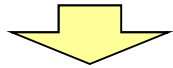
◆ 当面の治水目標は、1/30確率降雨

◆ 1/10確率降雨で床下浸水の解消、かつ、少なくとも1/30確率降雨で床上浸水を防ぐ

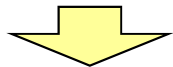
■ 現況で1/10で危険度Ⅰ以上が発生



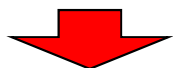
■ 1/10完成後、1/30と八尾実績降雨による危険度Ⅱ以上が発生



■ 事業効率により当面の目標を選択

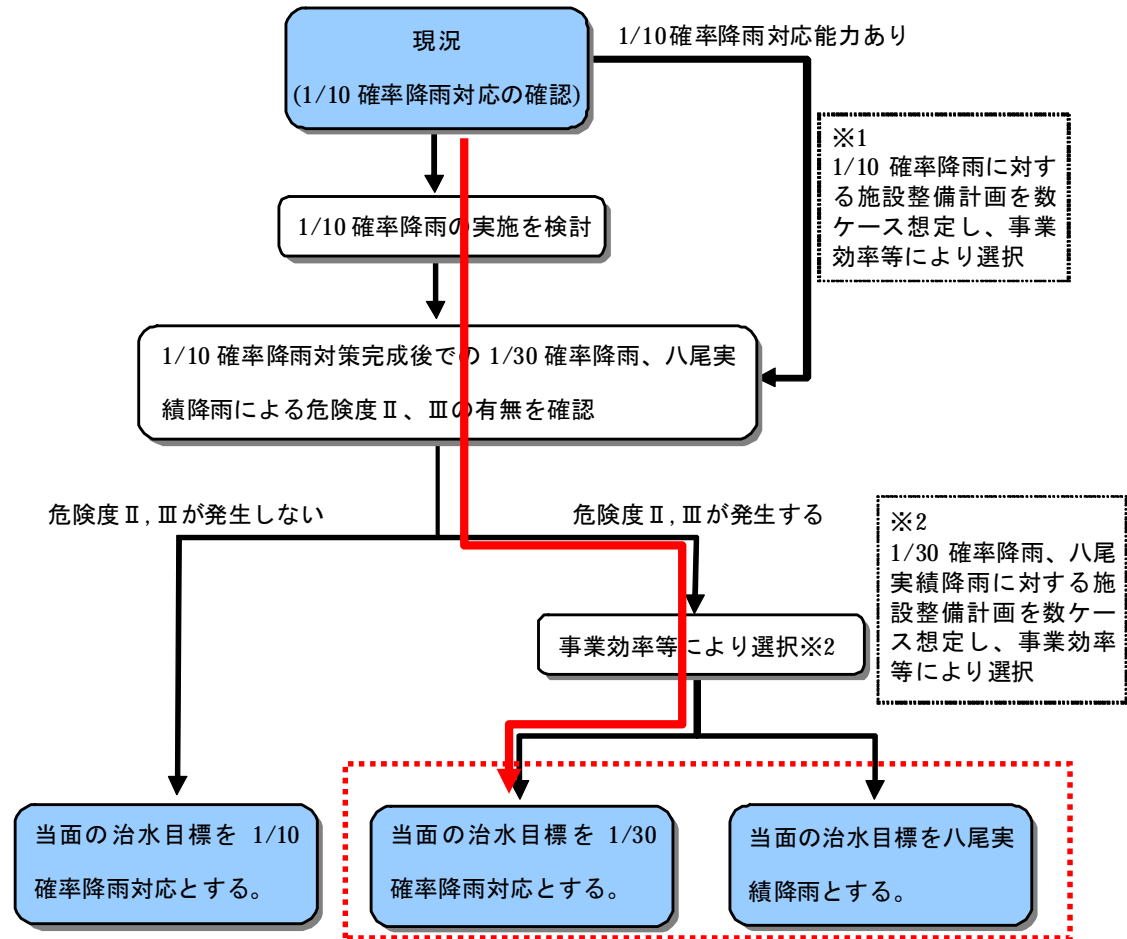


■ 事業効率性(B-C)が最も高い対策となる1/30確率降雨を目標と設定



< 当面の治水目標 >

概ね1/10確率降雨で床下浸水を防ぐこと、かつ少なくとも概ね1/30確率降雨で床上浸水を防ぐ



## 2. 3. (1) 今後の治水対策の進め方

### ■河川整備計画における当面の治水目標（概ね30年後）

寝屋川流域の当面の治水目標は、  
概ね10年に1度の降雨での床下浸水を防ぐこと、  
かつ、少なくとも概ね30年に1度の降雨での床上浸水を防ぐこと  
とする。

### ■長期目標(参考)

寝屋川流域の長期目標は、八尾で観測された昭和32年6月26日降雨  
[時間雨量62.9mm、24時間雨量311.2mm(戦後最大)]による洪水を  
安全に流下または貯留させることとする。

## 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画の変更に向けて

1. 河川整備計画(変更)の策定までの流れ
2. 治水について
- 3. 水環境(水質・水量)について**
4. 水辺環境・まちづくりについて
5. その他
6. 各項目における整備計画変更の視点

# 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画の変更に向けて

## 3. 水環境(水質・水量)について

### 3.1.水環境(水質・水量)に係る現整備計画の内容

- (1) 当時の背景
- (2) 水環境(水質・水量)の目標の内容

### 3.2.H14以降の水環境(水質・水量)における取組

- (1) 水環境(水質・水量)改善に向けた動き
- (2) 寝屋川流域水循環再生構想の概要
- (3) 寝屋川清流ルネサンスⅡ計画の概要
- (4) 寝屋川清流ルネサンスⅡ計画の総括
- (5) 次期水循環改善計画策定にあたっての留意点

## 3. 水環境(水質・水量)について

### 3.1.水環境(水質・水量)に係る現整備計画の内容

- (1) 当時の計画策定の背景
- (2) 水環境(水質・水量)の目標と内容

### 3. 1. (1) 現計画策定の背景

- 寝屋川流域の水循環には、人工的な水の流れが大きい特徴がある。
- 高度経済成長に伴い昭和40年代にかけて水質が著しく悪化  
→昭和40年代半ばからの下水道の普及や淀川からの導水により大幅に改善
- 川底に汚泥が堆積し、悪臭や浮遊汚泥が発生し、大きな問題

＜現計画策定時点の浄化対策（課題解消のためのピンポイント施策）＞

- 寝屋川について、淀川から寝屋川導水路を通じて導水し、さらに古川へも導水
- 平野川では、浮遊汚泥対策等のため、下水処理場から浄化用水として導水
- 恩智川支川の御神田川、音川では、河川水の直接浄化（礫間接触酸化）を実施

#### 『寝屋川流域水循環マスタープラン』策定（H8年度）

「きれいで豊かな流れの人々に親しまれる川の姿」を目指し、水質の改善、水の多目的利用、水辺を活かしたまちづくりなど、総合的な対策の指針を策定

- 環境用水、防災用水としての水量の確保
- 水質の改善（中期目標（2010年）C類型、長期目標（2025年）B類型）
- 豊かな水環境を生かした川づくり

平成11年度には、当時の水質環境基準（E類型：BOD10mg/L以下）について、恩智川を除き達成

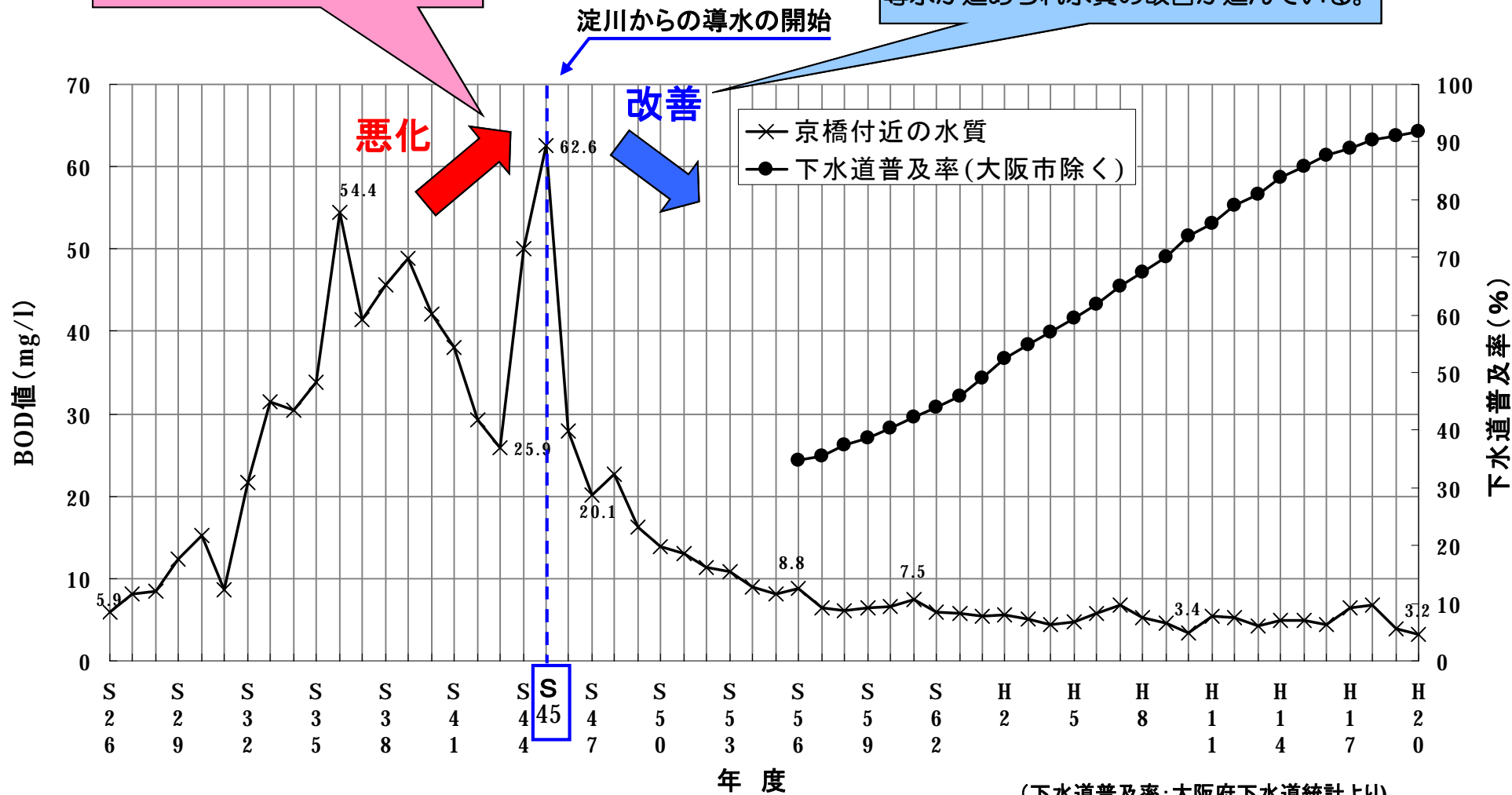


# 3. 1. (1) 当時の計画策定の背景

淀川からの導水、下水道の整備により、水質の改善が進んでいる

昭和30年代～昭和40年代にかけて水質が悪化していた。

昭和45年から浄化対策として淀川からの導水が進められ水質の改善が進んでいる。



(下水道普及率:大阪府下水道統計より)

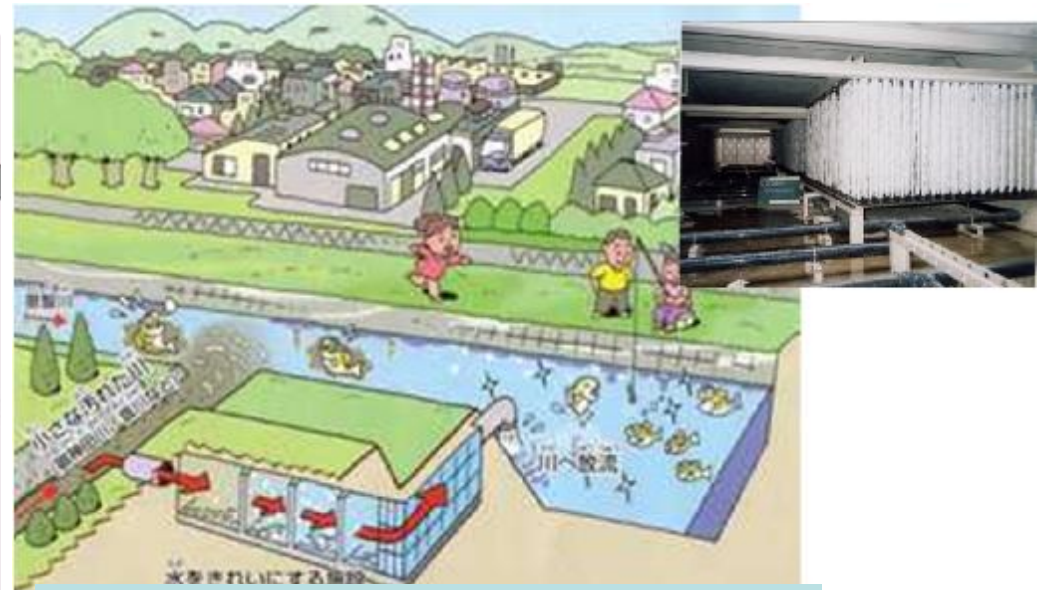
(BOD値:大阪府環境データベースシステムより)

### 3. 1. (1) 当時の計画策定の背景

## 河川浄化対策の取組事例



古川浄化導水事業



### 3. 1. (2)水環境(水質・水量)の目標と内容

#### 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- 市街地における貴重な水辺であることを考慮し、水環境の回復、改善に努める
- 淀川からの導水や下水道からの処理水導入等により、水量の確保に努める
- 近年、水質改善の傾向にあるが、恩智川等で環境基準を満足していない地点もあるため、関係機関及び流域住民と一体となって浄化に努める

#### 河川環境の整備と保全に関する目標

- 流域全体の水循環や生態系及び農業用利水等への配慮から適正な水量の確保に努める
- 水質改善を図るため、淀川からの浄化用水の確保や下水処理場からの処理水の導入及び接触酸化手法等を用いた直接浄化施設の設置

## 3. 水環境(水質・水量)について

### 3.2.H14以降の水環境(水質・水量)における取組

- (1) 水環境(水質・水量)改善に向けた動き
- (2) 寝屋川流域水循環再生構想の概要
- (3) 寝屋川清流ルネサンスⅡ計画の概要
- (4) 寝屋川清流ルネサンスⅡ計画の総括
- (5) 次期水循環改善計画策定にあたっての留意点

## 3. 2. (1) 水環境(水質・水量)改善に向けた動き

H13.12

都市再生プロジェクト第3次決定  
「水循環系の再生」モデル流域に選定

清流ルネッサンスⅡ対象河川として選定  
(H14.7)

H15.6

寝屋川流域水循環系再生構想の策定

寝屋川流域水循環系再生構想委員会

H16.5

淀川水系寝屋川流域水環境改善  
緊急行動計画(清流ルネッサンスⅡ)の策定

寝屋川流域協議会(国、府、11市)



## 3. 2. (2) 寝屋川流域水循環再生構想の概要

### I 寝屋川流域の水環境（水質・水量）の特徴・課題

- U 晴天時河川水の5～6割が上水道及び下水道等を経由した水で構成されていることや、年間水収支では、降水量の1.6倍程度が淀川・大和川から導水されているなど、人工の水循環系に大きく支配されている。
- U 流域の大部分が低平地であるため、感潮区間が広く存在する。
- U 流域からの汚濁負荷の発生は、家庭からの生活系雑排水負荷量が全体の排出量の大部分を占めている。
- U 昭和40年以降の宅地開発に伴う不浸透（宅地＋道路）面積の増加による保水機能の低下により、河川が本来有していたであろう基底流量（維持流量）が減少していることが懸念される。
- U 流域の中・下流部では、既に沿川の市街化が進み、度重なる浸水被害に対して緊急的かつ効率的な河川整備が求められ、結果として川幅を最小限に抑えた直立護岸が主体となった護岸改修が行われている。



## 3. 2. (2) 寝屋川流域水循環再生構想の概要

### ●水循環系再生の目標（50～100年後の将来像）

#### <水量>

- 環境に重きをおいた公のための水量を増やすために、人間個人のための水量をできる限り削減するという観点から、配分比率を変えていく。
- 環境を中心とする公共の水を増やすため、家庭や工場等で一度使われた水についても下水道等による適正な処理を経た後、河川・水路の水辺環境等の改善等にできる限り有効利用する。

#### <水質>

- 河川、水路の水質目標は、都市用水、農業用水の主な水源である淀川の水質と同程度とする。

#### <水辺環境>

- 水辺環境の目標は、水辺の親水性や景観の向上、在来の動植物の保全・回復とする。

## 3. 2. (3) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の概要

- 河川管理者・下水道管理者等の関係者が一体となり水環境の改善を図る河川等として、平成14年7月に清流ルネッサンスⅡ対象河川として選定
- 寝屋川流域水循環系再生構想の実行計画として、寝屋川流域協議会において、平成16年5月に「淀川水系寝屋川流域水環境改善緊急行動計画(清流ルネッサンスⅡ)」が策定された

### (目標とする水環境)

在来の動植物が保全回復され、水辺の親水性や景観の向上により人々の憩いの場となる水辺空間

(目標年度) 平成23年度(平成13年度を基準)

(目標水質) 評価地点を16地点設定(非かんがい期の平均値)

(目標水量) 5河川で設定(寝屋川、古川、恩智川、平野川、第二寝屋川)

### 【水質の目標(非かんがい期の平均値で評価)】

水質項目	目標値
BOD	5mg/L以下
DO	5mg/L以上
SS	10mg/L以下

※目標設定の考え方(BOD)

- 水とのふれあいや快適性の観点から、環境基準の「C類型以上」に設定
- 水質が悪化する非かんがい期(10～5月)の平均値で評価

## 3. 2. (3) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の概要

### 【水量の目標(非かんがい期の平均値で評価)】

#### ※目標設定の考え方

現況水量を必ず確保するものとし、さらに生物生息や景観保全のために必要な水量、目標水質の達成に必要な水量が現況水量を超える場合は、これを目標水量としている。

表 3.2 目標水量

(m<sup>3</sup>/s)

河川名	目標設定地点名	魚種の生息 ※1	景観保全 ※2	水質保全 ※3	現況水量 ※4	目標水量 ※5	設定根拠
寝屋川	萱島橋	1.55	0.31	3.88	1.04	3.88	水質達成
古川	新古川橋	0.18	0.18	1.80	0.62	1.80	水質達成
恩智川	福栄橋下流 100m	1.1	0.41	1.12	0.58	1.12	水質達成
平野川	東竹淵橋	0.2	0.24	1.00	0.63	1.00	水質達成
第二寝屋川	巨摩橋	0.34	0.41	0.68	0.68	0.68	現況水量

※1 魚種の生息:魚種の生息に必要な水量

※2 景観保全:景観保全のために必要な水量

※3 水質保全:目標水質達成に必要な水量

※4 現況水量:平成13年度の非かんがい期流量実測値(平成13年度大阪府河川等水質調査結果報告書)

※5 目標水量:平成23年度

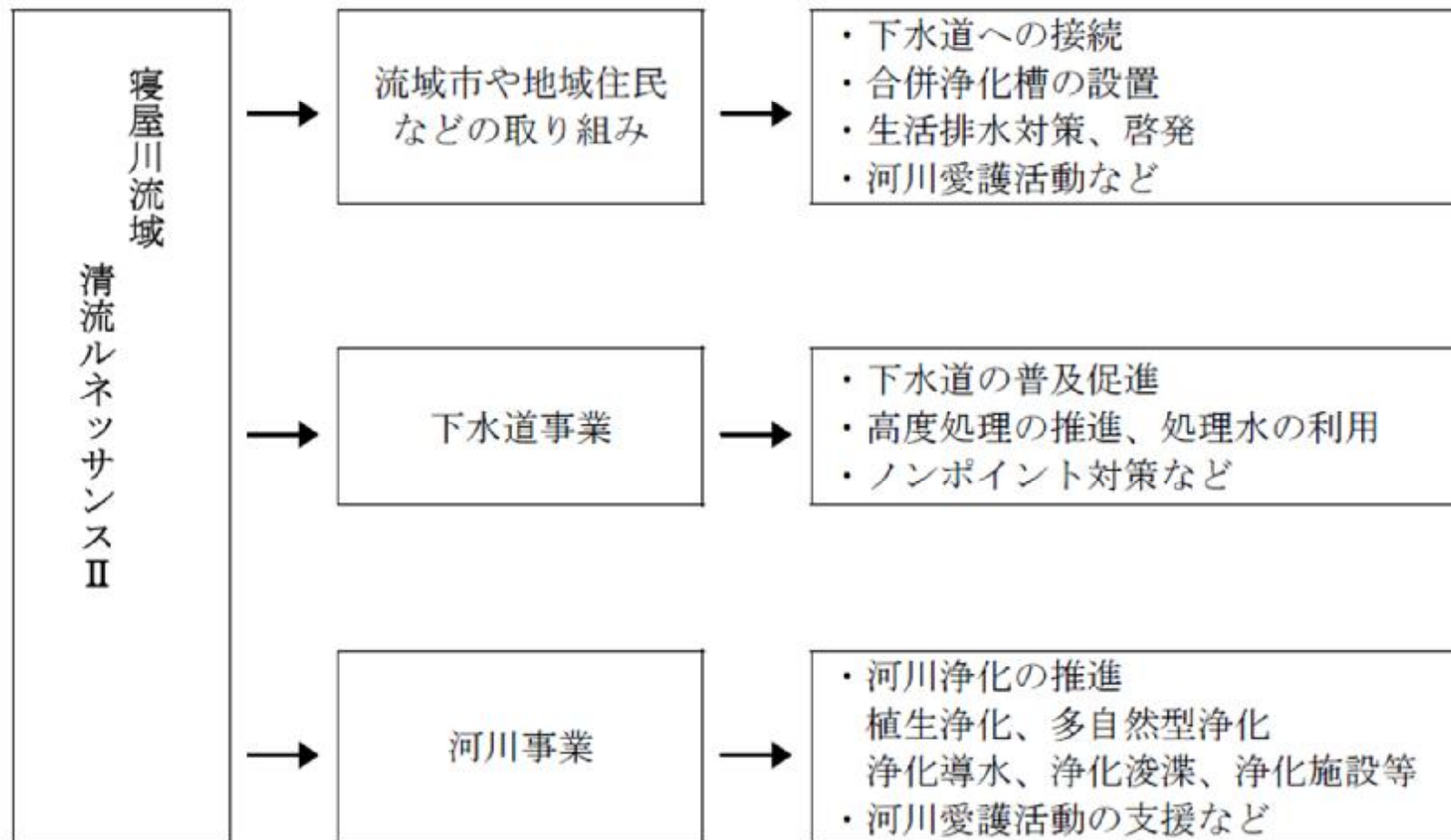
※ 寝屋川の萱島橋、第二寝屋川の巨摩橋の目標水質達成のための水量は、

下流域の目標水質達成のために必要な水量である

## 3. 2. (3) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の概要

### ●施策の体系

清流ルネッサンスⅡとは、河川管理者や下水道管理者ばかりでなく、流域市や地域住民などを含めた流域の関係者が一体となり、水環境改善に取り組むことである。



寝屋川流域清流ルネッサンスⅡの主な施策

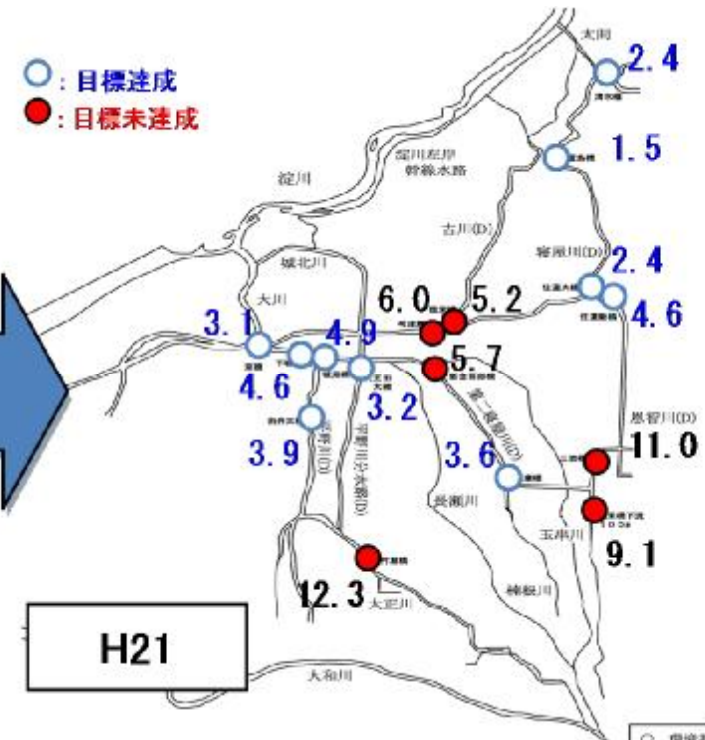
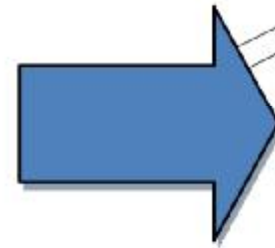
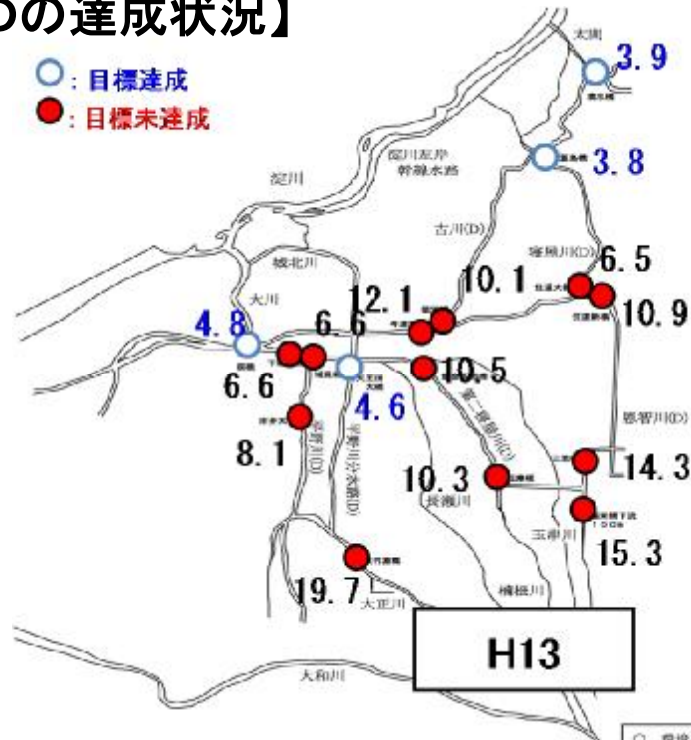
# 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

## ●水質目標の達成状況

	H13	H21
BOD (5mg/L以下)	4/16	10/16
DO (5mg/L以下)	6/16	12/16
SS (10mg/L以下)	10/16	14/16

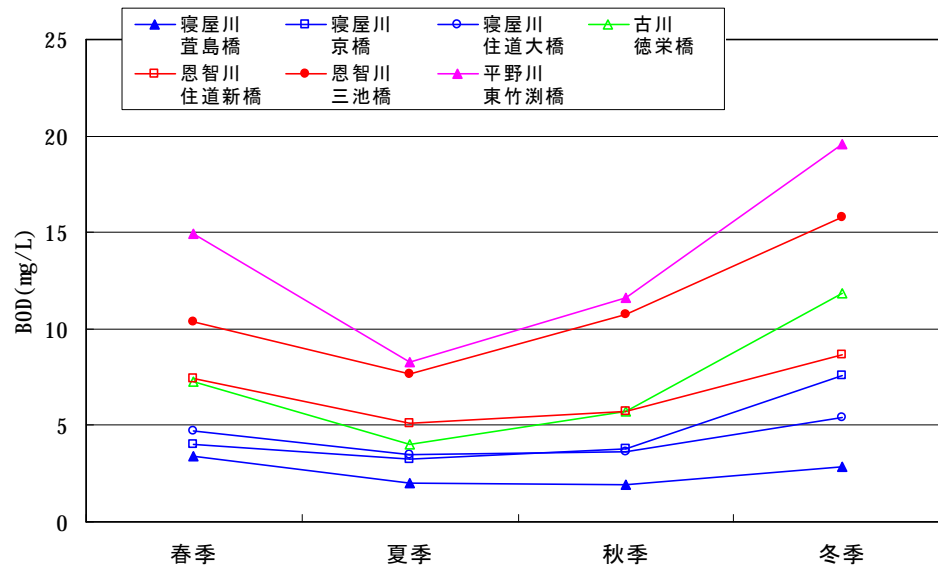
取り組みの推進により、水質改善は大幅に進んでいるものの、平野川や恩智川等に、目標未達成である河川が残っている。

### 【BODの達成状況】



# 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

## ●水質の季節変化



淀川や大和川からのかんがい用水が減少する非かんがい期に水質が悪化する傾向が見られる。

←H12～21のBOD季別平均値

## ●流量目標の達成状況

単位 (m<sup>3</sup>/s)

	寝屋川	恩智川	平野川	第二寝屋川
	萱嶋橋 (寝屋川市)	福栄橋下流 (東大阪市)	東竹瀨橋 (八尾市)	巨摩橋 (東大阪市)
H13	1.04	0.58	0.63	0.68
H14	1.10	0.48	0.51	1.44
H15	2.41	0.58	0.44	0.91
H16	2.83	0.65	0.72	0.82
H17	2.65	0.66	0.48	0.98
H18	2.38	0.45	0.53	1.35
H19	1.77	0.48	0.31	1.09
H20	1.75	0.61	0.87	0.58
H21	1.82	0.84	0.42	1.10
目標値	3.88	1.12	1.00	0.68

多くの地点で目標を達成できていない。



## 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

### H14整備計画策定以降、取組みが活発化！

#### ◆NPO等の水辺での活動の本格化

⇒ 「恩智川環境ネットワーク会議」・「ねや川水辺クラブ」発足

#### ◆水辺の活動団体の交流・ネットワーク化

⇒ 「私の水辺大発表会」・「近畿子どもの水辺交流会」開催

⇒ 「寝屋川流域ネットワーク」発足(19団体及び5大学)

#### ◆ボランティアによる河川清掃活動・アドプトリバーの本格化

⇒ 寝屋川流域で24団体が認定

#### ◆河川出前講座・水辺の学校の本格化

⇒ 「寝屋川流域出前講座」※これまでに延べ約350校、約40,000名

⇒ 「水辺の学校」※恩智川他・「河川出前講座」※恩智川、楠根川

#### ◆ワークショップによる地域協働の本格化

⇒ 「寝屋川」・「恩智川」

# 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

## ●アドプト・リバー・プログラム

地元自治会や市民団体の皆さんが主体となって行う河川の清掃や美化活動。

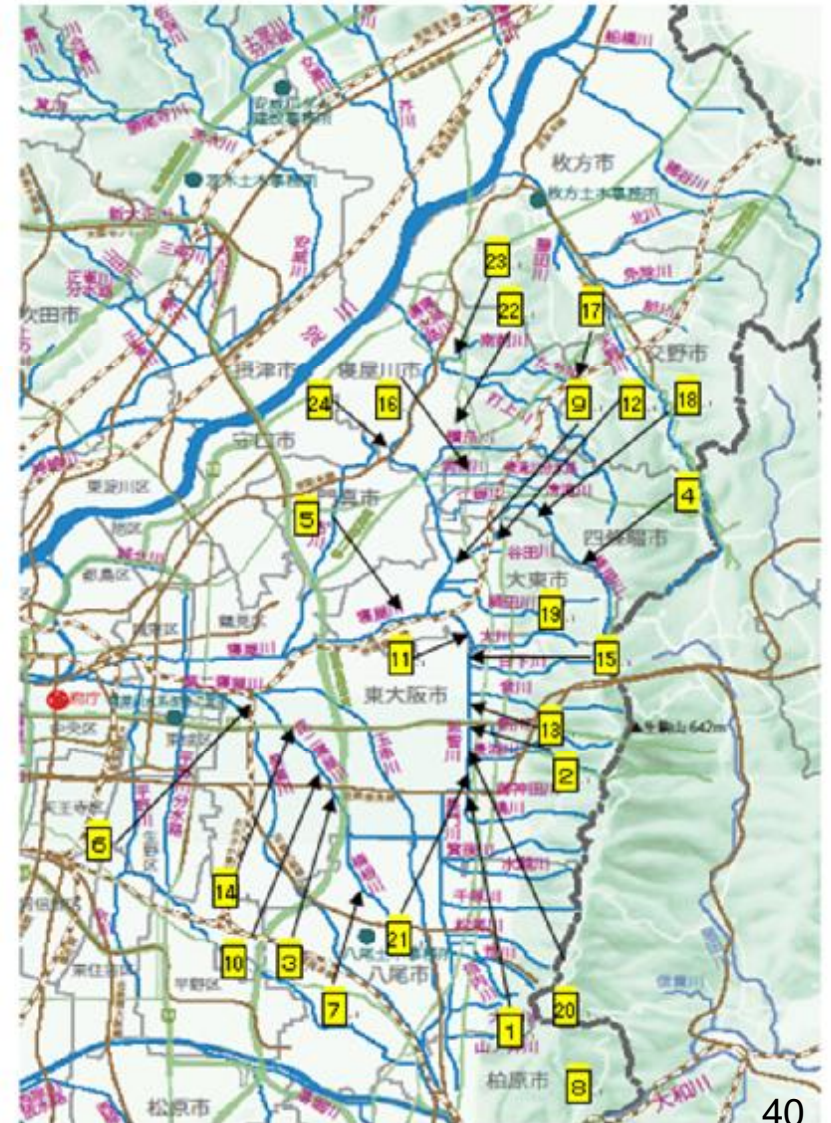
寝屋川流域では  
24団体が活動！



アドプトちゃん、  
アドプト・プログラムのマスコット。



- 1 アドプト・リバー・高安西(恩智川) ..
- 2 アドプト・リバー・新池島(恩智川) ..
- 3 アドプト・リバー・八戸ノ里(第二寝屋川) ..
- 4 アドプト・リバー・梅現川(梅現川) ..
- 5 アドプト・リバー・箕本・北箕本(寝屋川) ..
- 6 アドプト・リバー・稲田桃(第二寝屋川) ..
- 7 アドプト・リバー・榎根(榎根川) ..
- 8 アドプト・リバー・国分西(原川) ..
- 9 アドプト・リバー・野崎駅前(谷田川) ..
- 10 アドプト・リバー・御厨南(第二寝屋川) ..
- 11 アドプト・リバー・加納(恩智川) ..
- 12 アドプト・リバー・全日本同和会大東支部産業復興部会(谷田川) ..
- 13 アドプト・リバー・ハッピースマイル(恩智川) ..
- 14 アドプト・リバー・藤戸・やすらぎ(第二寝屋川) ..
- 15 アドプト・リバー・元町(大川・日下川・恩智川) ..
- 16 アドプト・リバー・岡部川コスモス夢クラブ(岡部川) ..
- 17 アドプト・リバー・佛示川を美しくする会(佛示川) ..
- 18 アドプト・リバー・野崎中川(野崎中川) ..
- 19 アドプト・リバー・O.S.U(鍋田川) ..
- 20 アドプト・リバー・フラワー・クラブ(恩智川) ..
- 21 アドプト・リバー・リバー・グレースミッション(恩智川) ..
- 22 アドプト・リバー・読良川 奥の細道(読良川) ..
- 23 アドプト・リバー・おかめ桜(新討川) ..
- 24 アドプト・リバー・起点 寝屋川(寝屋川) ..





## 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

### ●地域住民の状況



出前講座



現地見学会



恩智川フェスティバル

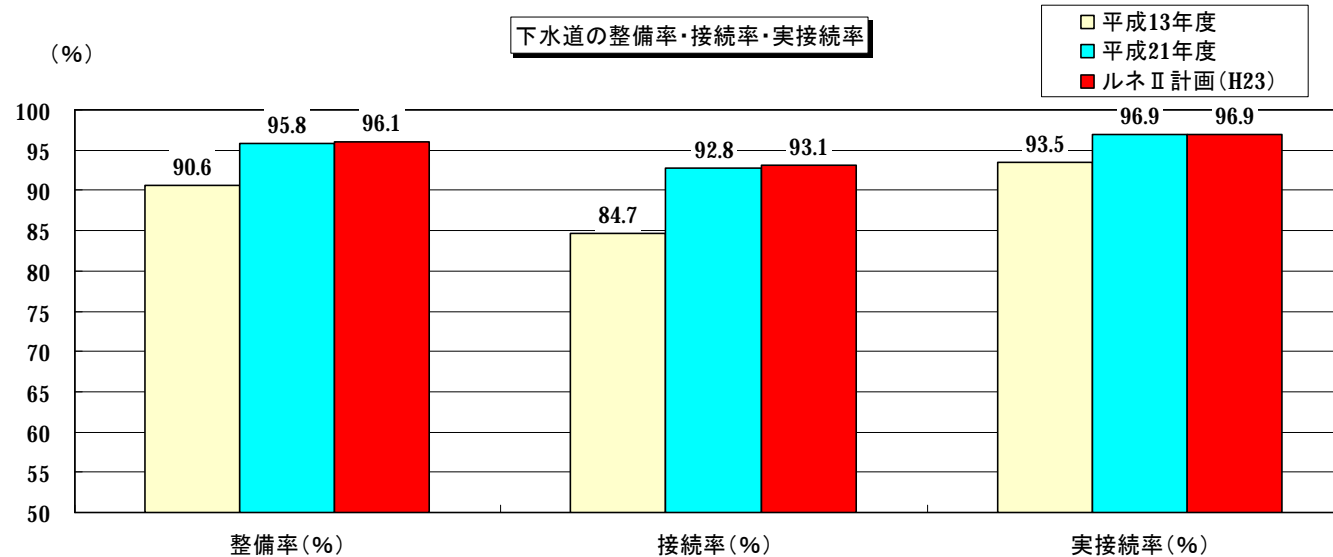


恩智川クリーンアップ

# 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

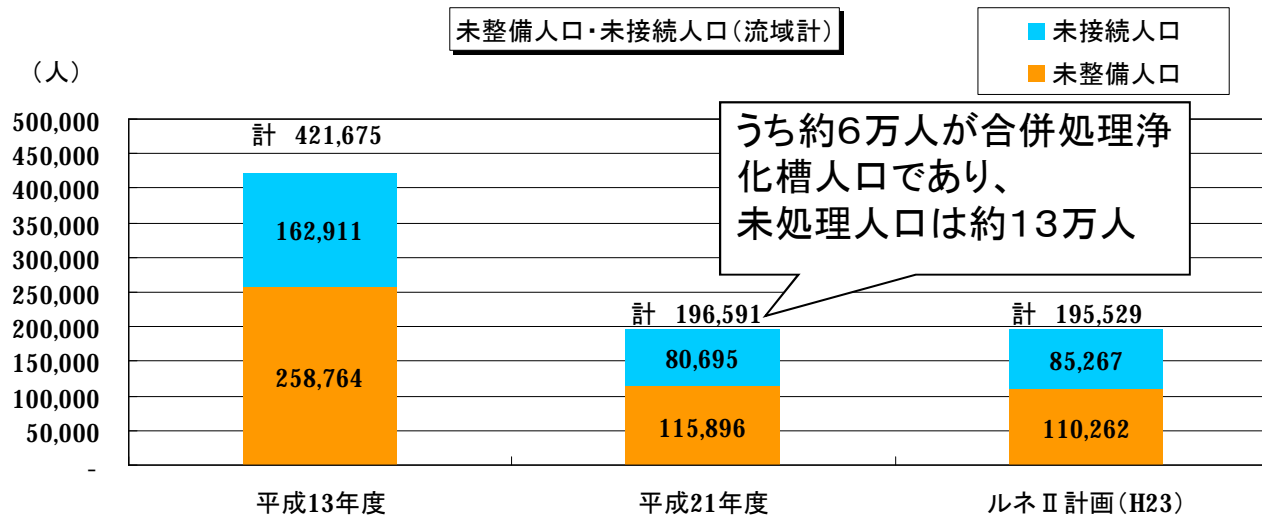
## ●下水道の状況

	H13	H21
接続率	84.7%	92.8%
平均処理水質(BOD)	5.3mg/L	4.7mg/L



ほぼ計画どおり進捗しているが、約13万人\*の未処理人口がある。

\* 寝屋川流域の総人口(270万人)の約5%に相当。汚濁負荷で見ると、流域全体の35%を占める。



## 3. 2. (4) 寝屋川清流ルネッサンスⅡ計画の総括

### ●主な取り組み状況

#### ◆河川事業の状況

主な事業メニュー		H22年度までの進捗
浄化浚渫	寝屋川	48,055 m <sup>3</sup> (進捗率53.4%)
	平野川	8,041 m <sup>3</sup> (進捗率24.4%)
地下水導水	恩智川	3か所で整備
直接浄化施設	御神田川ほか	3か所で整備
多自然型浄化	寝屋川ほか	3区間で整備



計画に位置づけられた河川27事業のうち、12事業を実施

## 3. 2. (5) 次期水環境改善計画策定にあたっての留意点

水循環再生構想の目標を見据えながら、今後10年間(平成24年度～平成33年度)の実行計画を定める。

### ◆わかりやすく実感しやすい水質指標の導入

### ◆さらなる水質改善への取組み

#### ○ 下水道の整備・接続の促進

- ・特に恩智川、平野川の集水区
- ・合流改善対策

#### ○ 流域全体の水路・支川を含めた水質改善

### ◆流域住民等の意識の啓発

#### ○ ごみのポイ捨て対策

#### ○ 企業の自主的な取組みの促進

## 3.水環境(水質・水量)について

### 3.3.整備計画変更の視点

## 3. 3. 整備計画変更の視点

寝屋川流域水循環再生構想及び次期水循環改善計画

- ◆わかりやすい実感しやすい水質指標
- ◆さらなる水質改善への取組み
  - 関係機関と連携した未処理生活排水の対策
  - 流域全体の水路・支川を含めた水質改善
  - 水量の確保
- ◆流域住民等の意識の啓発
  - ごみのポイ捨て対策や家庭からの汚濁発生量を減らす対策



## 淀川水系寝屋川ブロック河川整備計画の変更に向けて

1. 河川整備計画(変更)の策定までの流れ
2. 治水について
3. 水環境(水質・水量)について
4. 水辺環境・まちづくりについて
5. その他
6. 各項目における整備計画変更の視点



## 4.水辺環境・まちづくりについて

### 4.1.水辺環境・まちづくりにおける現計画の内容

- (1) 当時の背景
- (2) 水辺環境・まちづくりの目標と整備内容

### 4.2.H14以降の水辺環境・まちづくりにおける取組

- (1) 水辺環境・まちづくりの取組の概要
- (2) 水辺環境・まちづくりの取組の事例

## 4.水辺環境・まちづくりについて

### 4.1.水辺環境・まちづくりにおける現計画記載内容

(1) 当時の背景

(2) 水辺環境・まちづくりの目標と整備内容

## 4.1.(1) 当時の背景

<これまでの流れ>

H5.10 「河川環境整備マスタープラン」⇒H8.3「河川環境整備のてびき(案)」

**H8.3 「河川整備長期計画 発・水の国」⇒「寝屋川流域水循環マスタープラン」**

**H9 河川法改正**

- ・目的に「河川環境の整備と保全」を追加
- ・「地域の意見を反映した河川整備の計画制度の導入」を位置づけ



### 府民と協働した環境整備の推進へ

- ◆「川は地域固有の共有財産である」という共通認識を確立し、地域住民等と一体となった川づくりを進める。
- ◆地域社会のニーズにあった良好な河川環境・まちづくりを取り戻していくため、地域住民とのパートナーシップをつくる。

<水辺環境・まちづくり> H14河川整備計画策定以前からの取組

- ・最下流部の大阪城付近の遊歩道等は多くの府民が利用
- ・また、水上バスが運行され、観光ルートとして利用
- ・寝屋川治水緑地や打上川治水緑地の上面は公園として多くの府民が利用
- ・また、緑地内の池などは生物にとっても貴重な生息拠点
- ・ブロック積護岸では植樹や遊歩道を整備

## 4.1.(1) 当時の背景

・川とまちは高い堤防で分離され、空間や景観としての利用は限定



### ＜社会背景＞

川の多様性、重要性に多くの人々が関心を寄せ、「まちと川」「人と水」がそれぞれより近づけるような川が求められている

人々が水に親しみ、学べる空間を創出するなど、人と川の関係回復に努め、周辺のまちづくりと一体となった川づくりが必要

### 河川環境・まちづくりの整備と保全に関する目標

- 地域の特性に応じた川づくりを行い、良好な環境・景観を形成
- 遊歩道等により、人と川の関係の回復及び良好な都市景観の創出
- 環境教育の場としての親水性の向上、生物に優しい河川環境・まちづくり

## 4.1.(2)水辺環境・まちづくりの目標と整備内容

- ・矢板等に緑化し、擁壁の圧迫感を和らげ、周辺環境を改善
- ・親水性の配慮、景観の向上、生物の生息環境の機能を考慮
- ・遊水地を生息拠点とする生態系のネットワークづくり



護岸の垂直緑化  
(寝屋川)



遊水地の整備  
(恩智川治水緑地)



生物に配慮した整備  
(恩智川)

## 4.水辺環境・まちづくりについて

### 4.2.現計画策定以降の水辺環境・まちづくりにおける 社会情勢の変化

- (1)水辺環境・まちづくりの取組の概要
- (2)水辺環境・まちづくりに取組の事例



### H14整備計画策定以降、取組みが活発化！

#### ◆NPO等の水辺での活動の本格化

⇒ 「恩智川環境ネットワーク会議」・「ねや川水辺クラブ」発足

#### ◆水辺の活動団体の交流・ネットワーク化

⇒ 「私の水辺大発表会」・「近畿子どもの水辺交流会」開催

⇒ 「寝屋川流域ネットワーク」発足(19団体及び5大学)

#### ◆ボランティアによる河川清掃活動・アドプトリバーの本格化

⇒ 寝屋川流域で24団体が認定

#### ◆河川出前講座・水辺の学校の本格化

⇒ 「寝屋川流域出前講座」※これまでに延べ約350校、約40,000名

⇒ 「水辺の学校」※恩智川他・「河川出前講座」※恩智川、楠根川

#### ◆ワークショップによる地域協働の本格化

⇒ 「寝屋川」・「恩智川」

## 4.2.(2) 水辺環境・まちづくりにおける取組の事例

### ● 「私の水辺大発表会」 地域交流会

◆ 地域住民・学校・市民団体・行政等がパートナーシップを築き、良好な水辺環境の保全・活用を行っていく契機として、地域の小学生などに身近な水辺活動や調査等を発表していただくもの。

◆ 当発表会を通して、「水辺」への関心・「水辺」に関わる方々の交流をさらに深めていただくとともに、関係団体が一体となり、共に作り、守り、育てる水辺づくりを目指している。

#### 北河内地域交流会



● 交流会参加団体  
 ① ねや川水辺クラブ  
 幸町東老人会  
 摂南大学  
 府立工業高等専門学校  
 など  
 ② ねや川水辺クラブ  
 点野白治会  
 藤原川市内の小学校  
 摂南大学  
 市民団体  
 技術交流生  
 淀川管内河川レンジャー  
 など

#### ① 幸町公園水辺のつどい

地域・学校・水辺活動団体が集まり、水辺での交流を楽しみました！

水の中に入っただけの生き物観察や、昔遊び・カヌー乗船といった体験、また、活動のパネル展示やパックテストによる水質調査も行い、最後はみんなで川をきれいにしました。楽しく遊びまたふれあい、水辺への親しみや関心を高めてもらいました！



#### 中河内地域交流会

① 平成 22 年 9 月 4 日 (土) 10:00~12:00 大和川河川敷  
 ② 平成 22 年 10 月 9 日 (土) 9:30~12:00 八尾市安中小学校 体育館



① 大和川の魚の水槽展示、モンドリ・竹の束の仕掛けによる小魚の採取、大和川の水質・水生生物のお話をし、最後にメッセージ（今回参加した感想）も書いてもらいました。

② 水生生物によるお手玉づくり、金魚メダカすくい等の体験型プログラムを実施するとともに参加者全員による水辺への思いを語る交流会も開催しました。また会場での催しに加え、子供たちや近隣企業さんからのメッセージをボールに入れて長瀬川の上流から流し、会場に到着後、八尾市長や会場の子供たちに紹介して頂きました。

その他、「長瀬川ウォーク2010」（11月）「見て学んで！感じよう！」（1月）のイベントの中で私の水辺の活動状況をパネルや写真映像等で紹介しました。

● 交流会参加団体  
 八尾市立真美南小学校  
 八尾市立安中小学校 等  
 アクアフレンズ  
 淀川環境ネットワーク会  
 びらね隊「魚」部「ビーブル」  
 びらね隊「水」部「大和川のり人クラブ」  
 淀川土地改良区





## ●アドプト・リバー・プログラム

地元自治会や市民団体の皆さんが主体となって行う河川の清掃や美化活動。

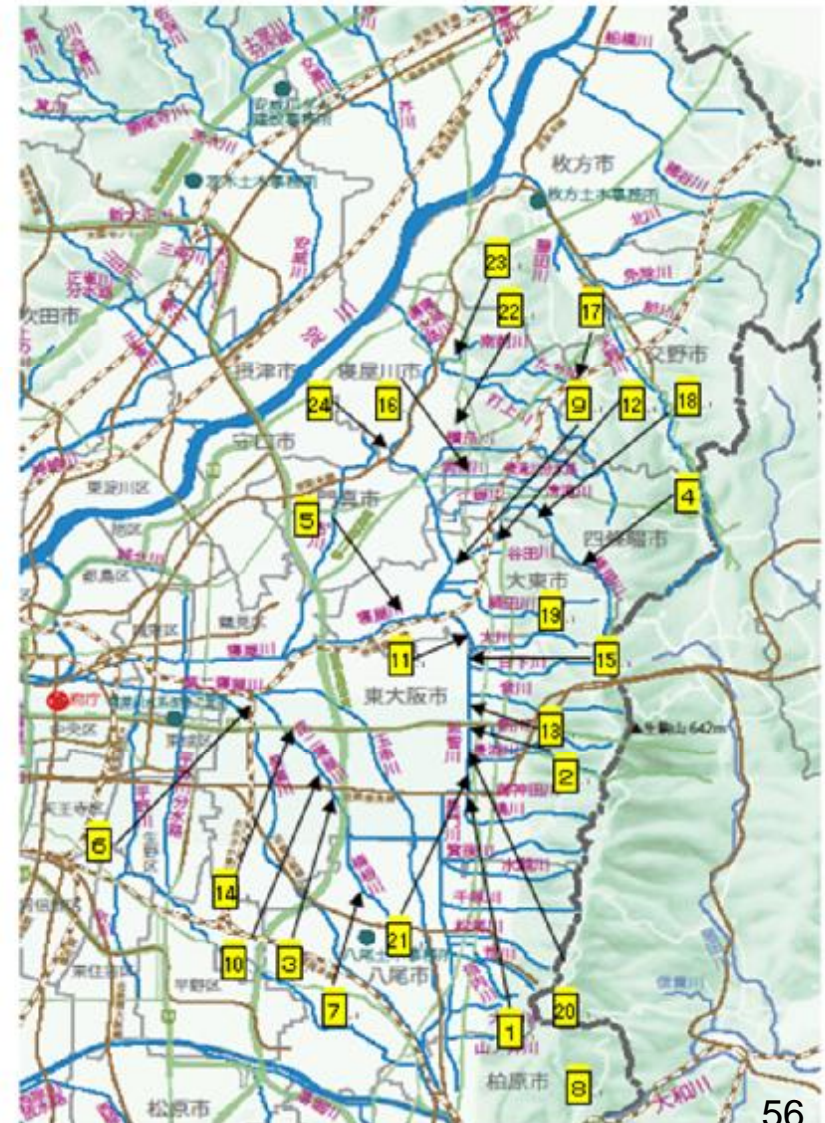
寝屋川流域では  
24団体が活動！



アドプトちゃん、  
アドプト・プログラムのマスコット。



- 1 アドプト・リバー・高安西(恩智川)
- 2 アドプト・リバー・新池島(恩智川)
- 3 アドプト・リバー・八戸ノ里(第二寝屋川)
- 4 アドプト・リバー・梅現川(梅現川)
- 5 アドプト・リバー・箕本・北箕本(寝屋川)
- 6 アドプト・リバー・稲田桃(第二寝屋川)
- 7 アドプト・リバー・榎根(榎根川)
- 8 アドプト・リバー・国分西(原川)
- 9 アドプト・リバー・野崎駅前(谷田川)
- 10 アドプト・リバー・御厨南(第二寝屋川)
- 11 アドプト・リバー・加納(恩智川)
- 12 アドプト・リバー・全日本同和会大東支部産業復興部会(谷田川)
- 13 アドプト・リバー・ハッピースマイル(恩智川)
- 14 アドプト・リバー・藤戸・やすらぎ(第二寝屋川)
- 15 アドプト・リバー・元町(大川・日下川・恩智川)
- 16 アドプト・リバー・岡部川コスモス夢クラブ(岡部川)
- 17 アドプト・リバー・佛示川を美しくする会(佛示川)
- 18 アドプト・リバー・野崎中川(野崎中川)
- 19 アドプト・リバー・O.S.U(鍋田川)
- 20 アドプト・リバー・フラワー・クラブ(恩智川)
- 21 アドプト・リバー・リバー・グレースミッション(恩智川)
- 22 アドプト・リバー・読良川 奥の細道(読良川)
- 23 アドプト・リバー・おかめ桜(新討川)
- 24 アドプト・リバー・起点 寝屋川(寝屋川)





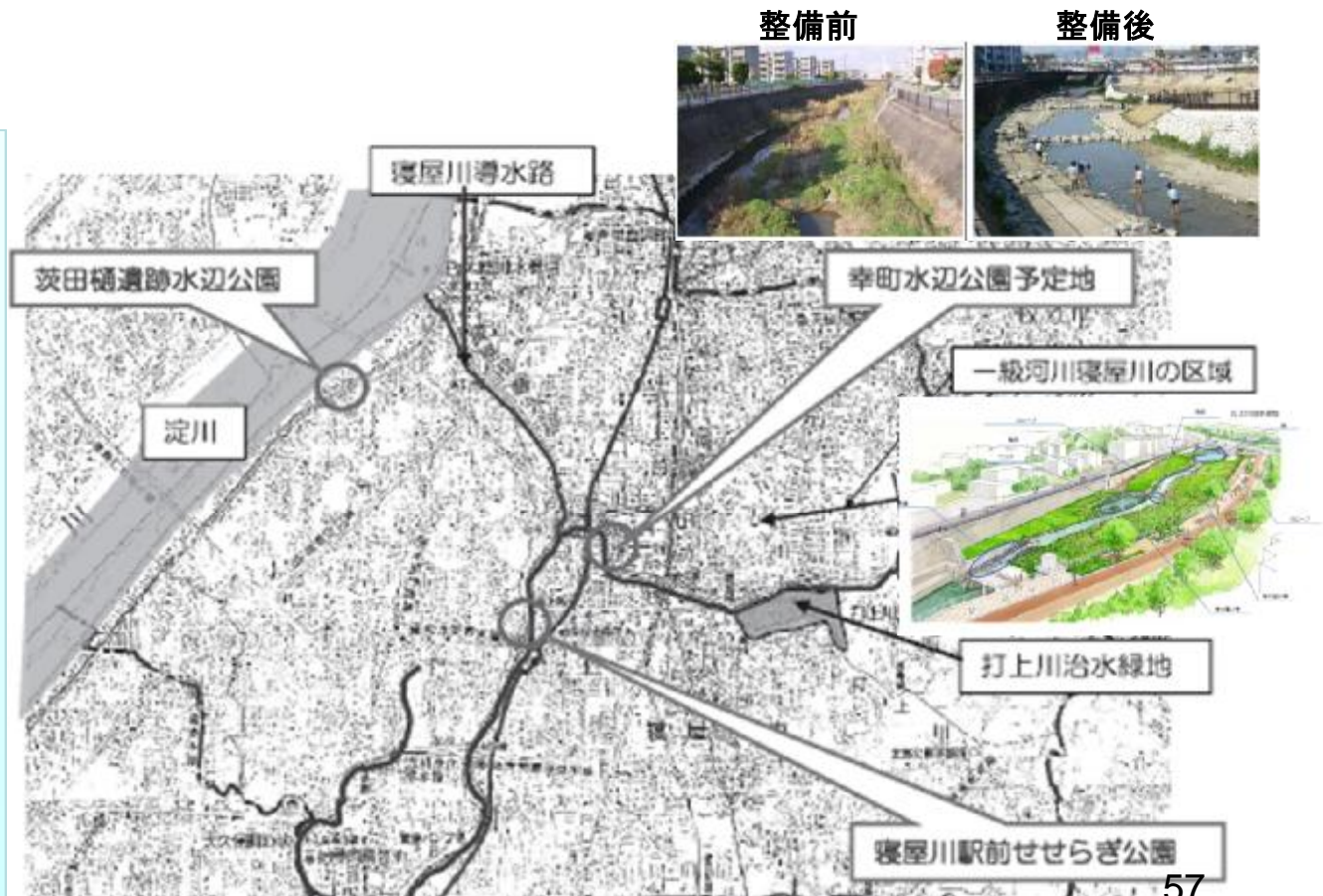
## 4.2.(2) 水辺環境・まちづくりにおける取組の事例

### ● 「寝屋川再生ワークショップ」による取組み

寝屋川市は、平成13年市制50周年を記念し、寝屋川をまちのシンボルにするため、市民公募によるワークショップ「寝屋川再生ワークショップ」を設立  
‘どぶ川’のイメージが強かった寝屋川を、親しみ憩えるオープンスペースとなるように地域との連携により、市民参加・協働のまちづくりを実施

#### 取組みの特徴

- ◆地域住民が主体  
整備計画の策定から維持管理運営の方法に至るまで幅広く議論
- ◆これまで、3か所での整備  
完成後も小学生向けの総合学習、イベントなどで、継続的に親水空間が利用  
多数の方が参加した定期的な清掃活動も実施。
- ◆現在、打上川治水緑地における整備について検討中



## 4.2.(2) 水辺環境・まちづくりにおける取組の事例

### ●寝屋川駅前せせらぎ公園

- ①ワークショップ風景
- ②清掃活動
- ③舟下り
- ④駅前整備前
- ⑤駅前整備後

